

Mt. FUJI KAWAGUCHIKO MUSIC FESTIVAL

Photo / Ko Hosokawa



リズムにのって 開放的な 夏のひととき

東京から2時間、富士山を目の前にレジャーでも人気の河口湖。緑の眩しい湖畔に立つ河口湖ステラシアターの音楽祭を訪ねた。外には屋台が並び、蔵出しワインも味わえる。生演奏が盛り上がる中、初めて来たというカップルから

「外でワインと音楽を楽しめて気持ちいい」と笑顔が返ってきた。屋根の開いたホールには、風がそよぎ、蟬の声も聞こえてくる。客席は、中高生、家族連れ、老夫婦、クラシックや佐渡裕さんファンのツアー客などで賑わう。吹奏楽部

の友達が出るので初めて来たという高校生は、プロの演奏に「迫力があって楽しい!」と興奮した表情だ。赤ちゃんを抱いたお父さんは、「里帰りの楽しみ。ボランティアの人のあたたかい感じがいいし、子どもと入れるのは嬉しい」

と満足気。一際はしゃいでいたのは、知的障害をもつお子さん。お母さんも「前回とてもよかったので、こういう機会に楽しんでいます」と嬉しそう。誰もが音楽によって、自然体で参加できるのも、開放的なホールならではの。

河口湖ステラシアター

半円形の野外劇場として1995年に誕生。2007年には可動式の屋根が完成し、全天候での公演が可能となった。2002年から、指揮者の佐渡裕氏を音楽監督に、町民ボランティア、町内の中学・高校の吹奏楽部顧問、高校生らを実行委員とし、毎年8月に音楽祭を開催。地域が一体となって取り組む音楽祭の実行委員会は、2012年に地域再生大賞特別賞を受賞。2015年には、初のパレエフェスティバルも開催された。

